



嘉麻市ゼロカーボンシティ宣言

近年、世界各地で地球温暖化に起因する記録的な豪雨や猛暑、台風などの自然災害が多発しており、私たちの生活環境に深刻な影響を及ぼしています。

2021年に開催されたCOP26（国連気候変動枠組条約第26回締約国会議）においては、世界の平均気温上昇を産業革命前と比較して1.5℃に抑える努力を追求することが合意され、脱炭素社会の実現に向けた動きが加速しています。

日本においても、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする目標が掲げられており、脱炭素社会の実現に向けた取り組みが本格化しています。

本市においても、こうした世界と日本の動向を踏まえ、二酸化炭素排出量削減に関する方針や施策について、令和8年3月に「第2次嘉麻市環境基本計画」の中間見直しを行いました。

本計画が目指す環境像「豊かな自然と共生する遠賀川源流の心やすらぐまち」の実現に向けて、市民や事業者などと手を携え、脱炭素への取り組みを更に進めていくために2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを実現する「ゼロカーボンシティ」の達成に向けて取り組むことを宣言します。

令和8年3月19日

嘉麻市長

赤間幸弘

